飼い主のいない猫(のら猫)
対策ガイドブック

はじめませんか？
地域でのら猫対策

令和7年3月作成

石川県

はじめに

のら猫に関する問題は、地域の問題であり、
地域の皆さんが主体となって、取り組むことが必要です。

のら猫に対する思いは人それぞれ違います。

敷地に糞や尿をされる　畑や庭を荒らされる
お腹をすかせていてかわいそう

しかしながら、「のら猫が増えている状態が良くない」と思っていることは、みんな同じはずです。

この手引きでは、地域の皆さんが円滑に取り組みを行うために必要な知識等を紹介しています。

目次

（1）　のら猫の生態を知っていますか？　・・・　2
（2）　問題への対応について　・・・　6
（3）　活動の方法　・・・　8
（4）　活動の進め方　・・・10
（5）　活動の進め方に関する相談窓口　・・・11
（6）　よくある質問　・・・12

（1） のら猫の生態を知っていますか？

猫の生態は、人間とは違います
生態を踏まえて、合理的な対策が必要です

① 強い繁殖力

・交尾をすると、ほぼ100％妊娠します
（交尾の後に排卵するため）

・妊娠して、約2か月で子猫が生まれます

・一度の出産で、4～8頭の子猫が生まれます

・生まれた子猫も、約4か月から妊娠できるようになります

・オスとメスが一組いれば、
3年後には2,000頭以上に増えることもあります

	犬	猫
妊娠できる日	1年に1～2回、5日間くらい	1年中いつでも（特に春から秋に出産が多い）
	必ず妊娠するとは限らない	ほぼ100％妊娠する
妊娠してから出産するまで	約2か月	約2か月
生まれる子の数	4～5頭	4～8頭

対策をしないと、のら猫はどんどん増えていく

② 行動範囲は意外と狭い

・日常生活の行動範囲が決まっています

・その範囲内で、複数のエサ場、排泄場所、出産場所などを決めて過ごしています

狭い地域内に、のら猫に困っている人、
のら猫を可愛がっている人が混在している

「のら猫が増えている状態は良くない」と思っていることはみんな同じです

③ なわばり意識が強い

・仲間以外の侵入は許しません
（仲間に加わる猫もたまにいる）

・そう簡単には他の場所に移動しません

今いる、のら猫のグループに、
別の地域から猫が加わることは、あまりない

「今いる、のら猫」が繁殖しないようにすることで、一代限りの命を全うし、徐々にのら猫の数が減ります

また、「今いる、のら猫」が、別の地域から、他ののら猫が侵入することを防いでくれます

④ エサの時間に正確

・エサやりをしている人の所を巡回しています

・エサがもらえる時間にやってきます

例	エサを置く時間	エサを片付ける時間	猫がくる時間
Aさん	１７時	猫が食べてすぐ	１７時
Bさん	１９時	翌朝	気まぐれな時間
Cさん	２１時	片付けない	気まぐれな時間

同じ場所、同じ時間にエサをやり、すぐに片付けると、
その時間に猫がやってくるようになる
→ のら猫の適切な管理（不妊去勢手術）が実施しやすい

のら猫を可愛がっている方へ →P6

＜同じ場所で、同じ時間にエサをやるメリット＞

- 猫の頭数の把握がしやすくなる
- 管理している猫にまとめてエサやりができる
- 捕獲が容易になる
- 周辺の環境を損なわない

※いつでもエサを食べられる状況では、決まった時間に猫がやってくるようにはなりません

エサの置きっぱなしは、

・悪臭や害虫の発生等のトラブルの原因となります

・エサが腐敗するなど、猫の健康にも良くありません

（エサは猫用のペットフードを与えましょう）

⑤　寿命が短い

・のら猫の寿命は4年～5年ほど
※周囲の環境や、個々の健康状態によって異なります
※室内飼育の飼い猫の寿命は15年～20年ほど

・外での暮らしは、交通事故、感染症などのリスクが高い

外での暮らしは猫にとって過酷

＜参考＞

動物の遺棄・虐待は犯罪です

愛護動物（のら猫を含む）を

・殺傷した場合は
　5年以下の懲役または500万円以下の罰金

・遺棄、虐待した場合は
　1年以下の懲役または100万円以下の罰金

（2）問題への対応について

猫が好き、嫌いという感情は、人それぞれです。
どちらが正しい、間違っているということはありません。

＜ のら猫に困っている方へ　＞

　のら猫の、どんな行動にお困りですか？
　のら猫が「いなくなればいい」と考えることもあるかもしれません。
　のら猫を単に排除しようとすることでは、すぐに元の状態にもどる恐れがあるとともに、のら猫の遺棄・虐待は犯罪です。
　のら猫の頭数、行動を合理的にコントロールすることで、問題の解決を目指してみませんか？
　のら猫が生まれないように不妊去勢手術をすることは、のら猫が地域にいなくなることに繋がります。
　のら猫対策の活動は、猫が苦手な方のための活動でもあります。

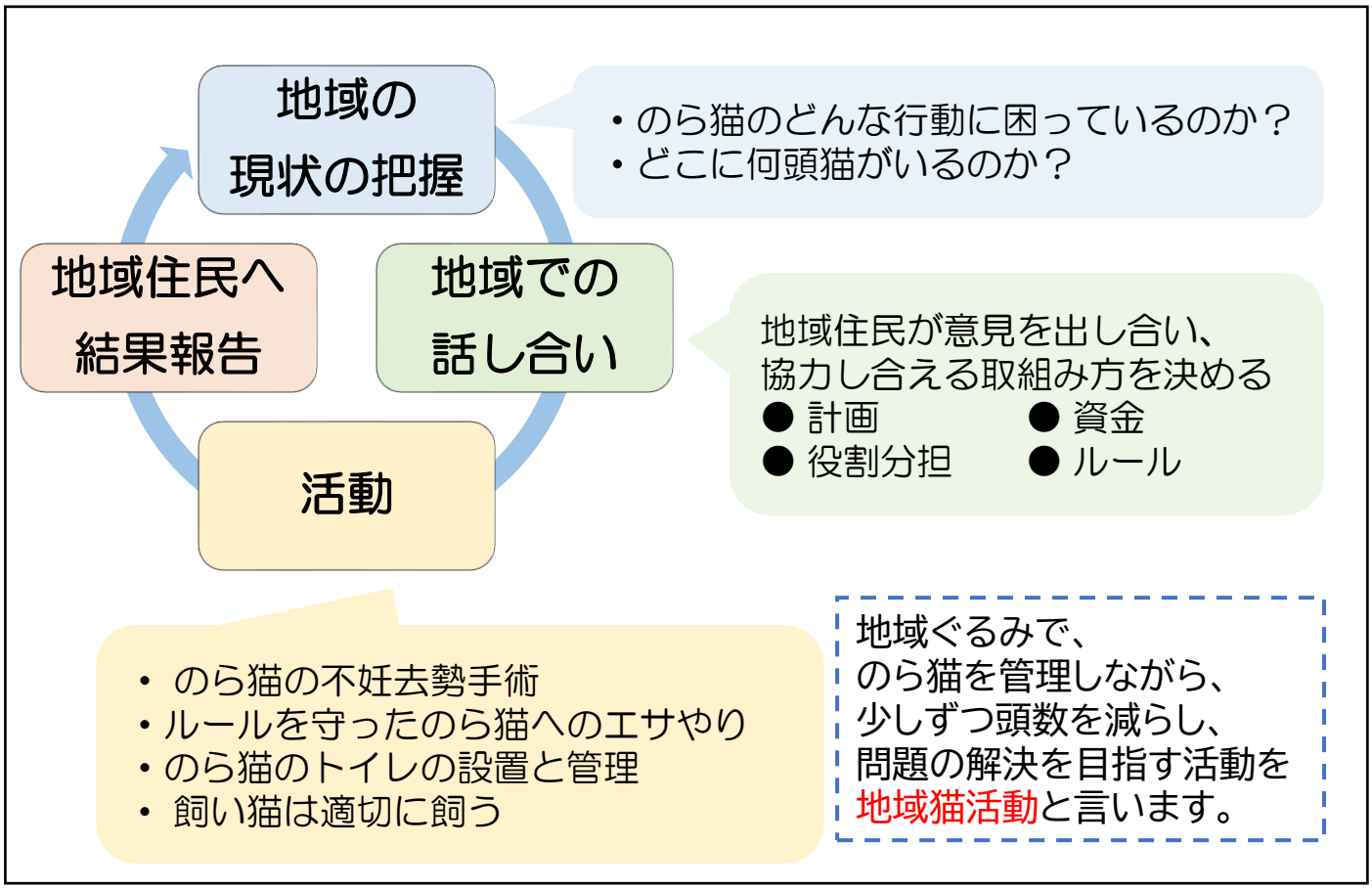
＜ のら猫を可愛がっている方へ ＞

　お腹を空かしている猫、交通事故や病気で命を落としてしまう猫をみて、心を痛めていることかと思います。
　可愛がっていた猫が、いつのまにか地域の悪者になっていたということもあるかもしれません。
　不幸な猫が生まれることを防ぐため、適切な管理（不妊去勢手術）をしてみませんか？

猫好きの方も、猫嫌いの方も、
「のら猫を減らしたい」という目標は同じです。
より効率的に問題を解決するために、
地域で協力して、のら猫対策をはじめてみませんか？

- **のら猫に不妊去勢手術をする**
- **のら猫を適切に管理（エサやり、トイレの管理）する**

不妊去勢手術とは、動物病院でできる、子猫が生まれないようにする手術です。一代限りの命を全うすることで、徐々に猫の数が減っていきます。



石川県作成 啓発チラシ「はじめませんか？地域でのら猫対策」より抜粋

（3）活動の方法

やみくもに活動をしても、効果があまりないことがあります。
のら猫の生態を踏まえて取り組みを行うことで、
効果的に猫の数を減らすことができます。

① 問題となっているのら猫のグループの行動範囲を把握して、活動エリアを決める

② エリア内の全ての、のら猫に不妊去勢手術をする

のら猫は繁殖力が強く、増えるスピードが速いため、少しずつ
手術をしても、なかなか効果が見えません。
<u>問題となっている、のら猫のグループを一気に手術してしまうことが最も効果的です。</u>

- どこに何頭の猫がいるのか、リストアップしましょう。
- 手術の実施について、動物病院に相談しましょう。
- 猫を捕獲して、手術日に動物病院に連れていきましょう。
  ※捕獲機について貸出をしています
  必要に応じてご相談ください（P11　活動に関する相談窓口）

（参考） 子猫がいる場合は、どのくらいの月齢から手術が可能か、
動物病院に相談してください。
また、子猫のうちは、譲渡先が見つかりやすい傾向があります。

③ 手術をしたのら猫は、元の場所に戻す

元の場所に戻した猫に、別の地域から入ってこようとする猫を
追い払ってもらうことで、新たに猫が増えることを防ぐことができます。

④ 同じ場所で、同じ時間にエサを与え、猫が食べ終わったら、すぐにキレイに片付ける

猫の頭数をチェックし、手術をしていない新たな猫がいたら
すぐに把握することで、新たに猫が増えることを防ぐことができます。

⑤ 糞尿被害がひどい場合は、猫のトイレを設置する

プランターを使った猫トイレの例

プランター

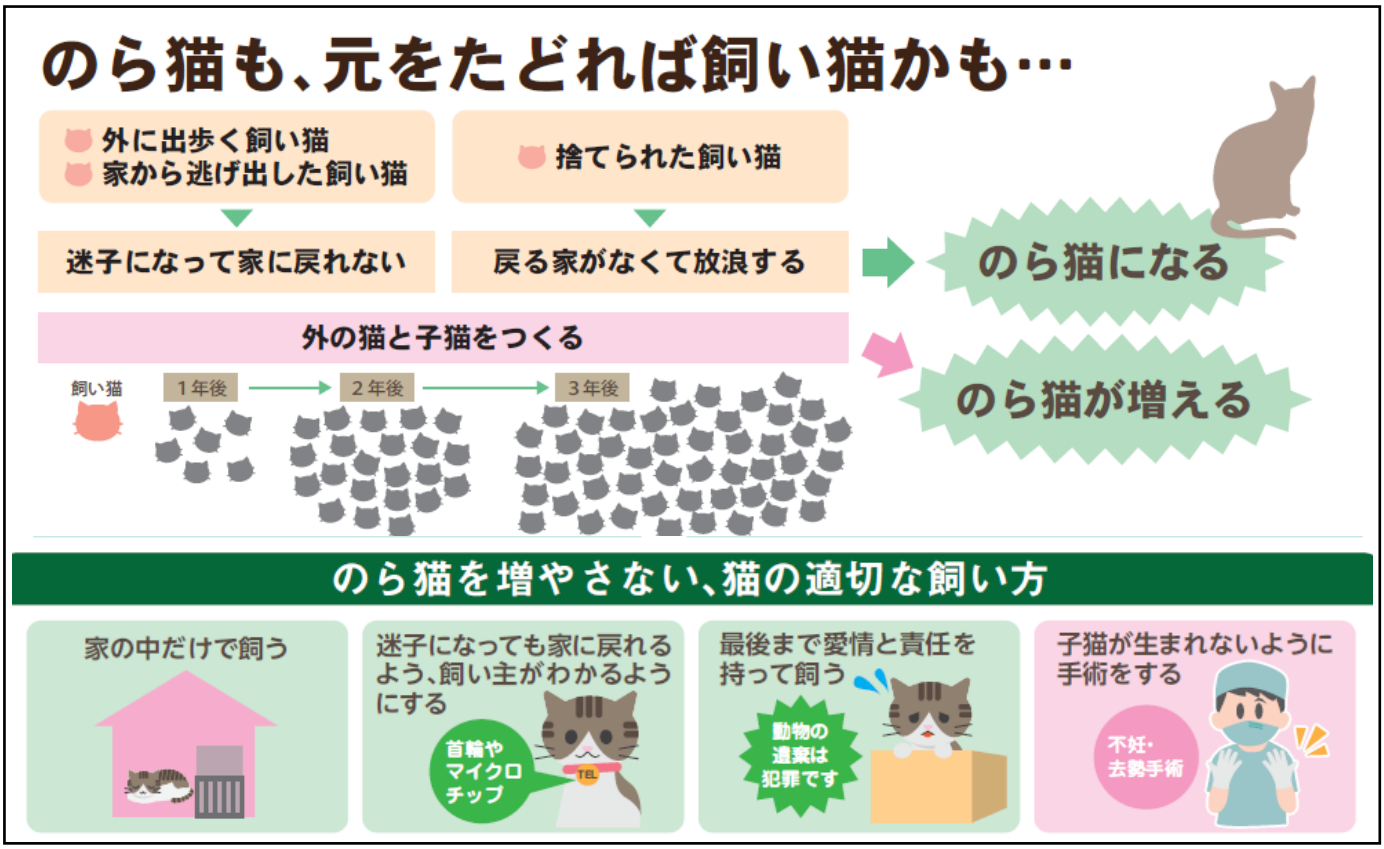
やわらかい土や砂

小石と底網ネット

猫はやわらかい土を好みます。
花壇や畑よりも心地よいトイレを設置することで、
糞尿被害を防ぐことができます

はじめは土に、
マタタビを入れることも効果的です

⑥ 猫の飼い主に、飼育のマナーを周知する



石川県作成 啓発チラシより抜粋
・「のら猫、もう増やさないで！」
・「飼っている犬や猫に不妊去勢手術をしていますか？」

チラシなどが必要な場合は
ご相談ください
（P11　活動に関する相談窓口）

（4）活動の進め方

① 地域で話し合いの機会を設ける

・のら猫のどんな行動に困っているのか
・解決に向けた取り組みについて話し合う

② 具体的な活動の役割分担をする

③ 活動を実行する

＜注意点＞

・「誰のせいか」の議論は、解決には結びつきません。
今、起きている問題に目を向けて、地域でどう対策すべきか、具体的な対策を話し合いましょう。

・誰か一人に活動を押し付けても、活動を完全に実施することは難しく、解決には結びつかないことが多いです。

・活動の内容と趣旨を、地域に周知徹底することが、効果的に活動を行うために重要です。

＜活動に係る費用の確保の例＞

- 地域で募金を集める
- 地域でバザーなどを開催して集める
- 町会費を活用する

※不妊去勢手術の助成金制度を設けている市町もあります

のら猫に関する取組は、地域の環境の美化、
地域のコミュニケーションの活性化、動物の愛護など、
様々な側面を持ち合わせた取り組みです。

（5）活動の進め方に関する相談窓口

活動の方法、進め方で分からないことがあれば、お気軽にご相談ください。
地域での話し合いにも、必要に応じて同席させていただきます。

いしかわ動物愛護センター		
担当	連絡先	対象市町
南加賀担当	0761-22-0795	小松市、加賀市、能美市、川北町
石川中央担当	076-275-2642	かほく市、白山市、野々市市、津幡町、内灘町
能登中部担当	0767-53-6893	七尾市、羽咋市、志賀町宝達志水町、中能登町
能登北部担当	0768-22-2028	輪島市、珠洲市、穴水町能登町

＜石川県動物愛護推進員について＞

石川県動物愛護推進員は、
動物愛護に熱意がある動物の専門家、有識者として、石川県が委嘱しているボランティアです。

のら猫対策を行う方への助言などの活動を行っている推進員もいます。

石川県ホームページ
石川県動物愛護推進員について

（6）よくある質問

1　県でのら猫を引き取ってくれないのか？

猫が増えすぎてしまった原因を考慮せず、ただやみくもに排除するだけでは、効果は一時的であり、すぐに元の状態に戻ってしまうことが考えられます。

問題を解決するには、事例に合わせて効果的な対策を考えることが必要です。

事例に合わせた対策の検討や、活動の進め方についてお気軽にご相談ください。（P11　活動に関する相談窓口）

また、猫の遺棄・虐待は犯罪です。

2　のら猫へのエサやりを禁止すれば良いのでは？

エサをやることを禁止しても、のら猫の数は減りません。

のら猫にエサやりをすることは、お腹を空かした猫がゴミをあさるなどの被害を防ぐメリットもあります。

また、日頃からエサをやっていることで、のら猫の頭数を把握する、捕獲をするなどの活動をスムーズに行うことができます。

しかしながら、エサを置きっぱなしにするなどの不適切なエサやりは、地域の環境の悪化につながるため、ルールを守っていただくことが必要です。

エサやりを禁止することで、隠れて不適切なエサやりをするようになり、問題がより深刻化することもあります。

ルールを守ったエサやりは、地域の生活環境を守り、
のら猫対策の活動を円滑にします。

3　のら猫が自宅の敷地に入ってきて困っています

のら猫を寄せ付けない方法を試してみてください。

・超音波発生器を設置する
・忌避剤の設置（ニオイで追い払う）（コーヒーかす、木酢液　など）
・猫の嫌がる植物を植える（ゼラニウム、かんきつ類、ペパーミントなど）
・侵入経路などに障壁を設ける（ネットや柵で囲う、砂利を敷く　など）

※水を入れたペットボトルは効果がほとんどなく、火災の原因となることもあります。

また、のら猫は寝床、排泄場所、エサ場を分ける傾向があるため、糞尿被害に困っている場所をエサやり場所にし、別の場所に猫用のトイレを設置することで、糞尿被害を防ぐことができる場合もあります。

＜参考＞「地域猫活動」ってどんな活動？

地域住民みずから主体となって
のら猫の一代限りの寿命を全うさせながら、
少しずつ頭数を減らし、問題の解決を目指す活動です

第１ステップ：「**T.N.R**」（ティー・エヌ・アール）
- ①**T**rap　トラップ　　捕まえて
- ②**N**euter　ニューター　不妊去勢手術を施し
- ③**R**eturn　リターン　　元の場所へ戻す

一般的に
オスは右耳、
メスは左耳をカット

第２ステップ：「**M**」（エム）
Management　マネジメント　管理する
- ・ルールを守ったエサやり
- ・トイレの設置と管理

耳がカットされているのは、不妊去勢手術をした印です
（再度の捕獲や手術を防ぐことができます）

環境省が策定している「動物の愛護及び管理に関する施策を総合的に推進するための基本的な指針」において、**地域猫活動**の推進が、「講ずべき施策」として示されています。

【参考】動物の愛護及び管理に関する施策を総合的に推進するための基本的な指針（環境省） 抜粋

講ずべき施策

住宅密集地等において地域住民の十分な理解の下に飼い主のいない猫への不妊去勢の徹底や給餌若しくは排せつ物の管理等を実施する地域猫活動の在り方に関し検討を加え、適切な情報発信を行うこと。

生活環境被害の防止や犬又は猫の適正飼養の観点から、所有者等のいない
犬又は猫に対する後先を考えない無責任な餌やり行為が望ましくないことについての普及啓発の強化や、地域猫活動に対する理解の促進等を通じ、所有者等のいない子犬及び子猫の発生を防止するための取組を推進すること。

その他、のら猫対策には「TNTA活動」という方法もあります

TNTA（ティー・エヌ・ティー・エー）活動
のら猫を保護して譲渡先を探しながら、
頭数を減らし、問題の解決を目指す活動

・のら猫を一時的に自宅で飼育できる人がいる
・外の環境が過酷なため、猫が心配である　等
地域の状況に応じて、検討してみませんか？

- ①**T**rap　トラップ　　捕まえて
- ②**N**euter　ニューター　不妊去勢手術を施し
- ③**T**ame　テイム　　人に慣らす
- ④**A**dopt　アドプト　　譲渡する